

学校レポーター's コラム

「トヨタへ就職するということ」



川根高校3年 鳥居徳弘

私がトヨタへ就職したいと思ったのは、トヨタの経営理念の一つである「国際社会から信頼される会社」に共感したからです。

ただひたすら利益ばかりを考えている企業では、社会から信頼はされません。しかし、経営不振で赤字続きでも信頼を得るのは難しいことです。トヨタは、世界的な市場で信頼を得ていますが、それは環境への配慮や顧客に対するサービスの充実などの努力をしているからだと感じます。

私は、入社したら「周りから信頼される社員」を目指します。信頼されなければ、一つの工程を任せてもらえないし、先輩方からアドバイスももらえないからです。信頼されるためには、精一杯仕事をする必要があります。もちろん、先輩方とコミュニケーションをとることが大切だと思っています。また、小学生のころから始めた野球を就職しても続けたいと思っています。仕事にも精一杯汗を流し、趣味や特技を伸ばしていきたいような充実した生活を送っていきたいと思います。さらに、各種の国家資格などの専門的な技能を修得し、自分のスキルを高めていく努力をしていこうと考えています。

トヨタの内定がいただけたのは、家族の支えや、先生方の力添えがあったからです。家族には、高校1年の時から進路についてアドバイスをもらい、私の背中を押してもらいました。先生方には、何回も行なった面接練習や、何度も書いた志望動機を見てもらい、多くのことを指導していただきました。家族や先生方の力添えがなかったら、トヨタの内定をいただけることはできませんでした。本当に感謝しています。

今は期待と不安で胸がいっぱいですが、責任とやりがいをもって精一杯努力していきます。

「JR東海入社に向けて」



川根高校3年 高土源太

私は以前より、人々の役に立ち、社会に貢献できるような仕事に就きたいと思っていました。私が内定をいただいたJR東海は、まさにそのような会社です。

私は、JR東海を受験するにあたり、今まで何気なくやっていたことを意識して行うように心がけました。日常の礼法やあいさつに加えて面接練習などにも積極的に取り組みました。普段の言葉遣いや姿勢に気を配ったり、明るくあいさつをしたりするように心がけました。面接練習では、指摘されたところがあつたら、すぐに改善して次に生かせるようにしました。そして、何度も繰り返し練習し、一つ一つの言葉を大切にしながら、自分の熱意が伝わるように努力しました。

私がJR東海に合格することができたのは、こうした努力だけでなく、いろいろな人たちの支えがあったからです。常に私の進路について真剣に考えてくれた家族やどんな相談ごとでも受けてくれ、何度も面接の指導をしてくださった先生方、そして、ともに頑張ってきた友人たち。支えてくれた多くの人たちに本当に感謝しています。

JR東海に入社してからは、お客様に対して常に気を配って仕事をしていきたいと思っています。そして、どのお客様も、安全に快適に目的地までご案内できるよう努力していきます。企業に役立ち、社会貢献への第一歩にできたらいいと思っています。